

各位

会社名 株式会社オプトエレクトロニクス
 代表者名 代表取締役社長 野々垣 龍哉
 (スタンダード・コード6664)
 問合せ先 社長付管理部長 庭井 貫治
 電話 048-446-1181

2026年11月期通期業績予想に関するお知らせ

当社は、2026年1月14日に公表いたしました「2025年11月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において、2026年11月期通期連結業績予想を未定としておりましたが、このたび業績予想を算定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2026年11月期連結業績(2025年12月1日～2026年11月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
					円 銭
前期実績(2025年11月期) (A)	6,772	△ 254	△ 421	△ 226	△ 36.59
今回発表予想(B)	6,507	△ 531	△ 648	△ 681	△ 48.28
増減額(B-A)	△ 265	△ 277	△ 227	△ 455	
増減率	% △ 3.9	—	—	—	

2. 公表の理由

2026年11月期の連結業績予想につきましては、新たな経営体制の下で事業計画の策定を進めていたことから未定としておりましたが、このたび現時点で入手可能な情報に基づき通期業績予想を算定いたしましたので、公表いたします。本予想につきましては、為替を1ドル=155円、1ユーロ=182円と想定しております。

2026年11月期においては、当社グループを取り巻く事業環境は、引き続き厳しい状況が続くものと見込んでおります。また、一部の主要顧客における市況変動に伴う在庫調整の影響により、売上高は前連結会計年度を下回る見通しであります。加えて、2026年11月期においては、来期以降の販売拡大に向けた新製品に係る開発投資や組織再編、固定費削減に資する構造改革等に係る一時費用を計上することから、利益面でも前連結会計年度を下回る見通しとしております。

一方で、来期以降につきましては、市況の回復に加え、2026年11月期の取組みが奏功することで、売上・利益の改善を見込んでおります。具体的に、市況の回復としては、半導体業界の活況を背景とした同業界の成長投資に伴う設備投資需要の取り込みによる売上高の増加を現時点で見込んでおります。また、2026年11月期における取組みの成果として、販売面では、新製品の投入による倉庫・ロ

ジスティクス業界をはじめとする、業務効率化・自動化の旺盛な需要を受けた高付加価値なビジネス領域の強化を見込むほか、費用面では、構造改革の成果として年間1億円超の費用削減を見込むなど、業績の改善を見込んでおります。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。また、実際の業績は業況の変化等により大きく異なる可能性があります。

以 上